



北海道森林管理局 指導普及課だより

平成20年9月
第12号
〒064-8537
札幌市中央区宮の森3-7

森林くらの報告です。 樹と石からのぞく日高山脈森林ウォーク

9月6日（土）「樹と石からのぞく日高山脈森林ウォーク」と題して、第2回目の森林ふれあい推進事業（愛称「森林くらぶ」）を、日高町「さんご溪谷コース」にて開催しました。今回は、日高山脈ならではのめずらしい岩石について、日高山脈館の東豊土 学芸員が解説し、参加者はコース上にある石を拾っては熱心に説明を聞いていました。この「さんご溪谷コース」は、クロム鉄鋼の採掘跡や蛇紋岩の露頭があり、日高ヒスイの産地としても有名になったところです。また、川の中からガーネットの原石も見つかり、もらった参加者は大喜びでした。



今年の公開講座は！？ 心と体に効く、森林の不思議体験！

今年度の公開講座は、「森林が人間の心と体と与える影響を実感する」をテーマに、北海道の森林の暮らしの歴史講談、森林療法を実践している精神科医師の講話、樹林気功、森林のコンサートやキノコの観察会の計6講座を開催しました。樹林気功では、野幌森林公園で半日を過ごし思う存分身体を動かし、森林の中の美味しい空気を吸いながら大変気持ちの良い一日を過ごすことができました。森林のコンサートでは、オカリナ・ギター・パーカッションのハーモニーがウッディーホールに美しく響き、参加者も一緒に演奏したり、演奏珍しい楽器の展示もあり、日頃の疲れが癒されました。



サマー・コンサート in Woody Hall 北海道森林管理局・札幌西高等学校管弦楽団 共催



8月4日（月）近所のみなさんにクラシックを楽しんでいただく目的で、森林管理局と札幌西高オーケストラ部共催のサマーコンサートを行いました。大迫力の演奏に近所の子どもたちははじめ観客は圧倒されていました。



ブナフォーラムin黒松内

9月6日～8日「国際ブナフォーラム2008」が、黒松内町黒松内中学校を会場に、約120名の参加を得て開催されました。このフォーラムは、黒松内町の歌オブナ林の天然記念物指定80周年記念と合わせ、北海道森林管理局が取り組む「北限のブナ復元プロジェクト」を、地域住民にPRすることを目的に、町と共催で実施したものです。前半の「天然記念物指定80周年記念セッション」では、歌オブナ林の歴史を題材にした一人語りや基調講演、「地球温暖化時代の北限のブナ林」についてのパネルディスカッションが行われました。また、後半の「北限のブナ復元セッション」では、山田森林管理局長の挨拶に続き、海外研究者によるデンマークのブナ林施業の特別講演、地元の黒松内町、寿都町、島牧村の住民の森づくり活動の紹介。さらに、「未来を見据えたブナ林の復元に向けて」のパネルディスカッションでは、生物多様性検討会委員の辻井先生と鷺谷先生、安楽計画部長が登壇し、ブナ復元に向けた意見が交わされました。最終日は、IUFRO国際ブナシンポジウムで来日した海外のブナ研究者等約70名が、歌オブナ林



等を視察しました。全体を通してそれぞれ興味深い内容でしたが、特にパネルディスカッションでは、ブナ林を復元することの目的を明確した方がよいとの意見や、復元には地域連携が重要であるとの指摘がなされるなど大変有意義なフォーラムとなりました。

パネル＆写真展を3回開催 北海道の木の写真パネル展



北海道の代表的な木の写真パネルとタネ、幹のサンプルを展示しました。最終日は札幌市内100箇所の施設が参加するカルチャーナイトの一環として、夜10時まで展示し、市民のみなさんに木に親しんでいただきました。



遊びに来てくれた子どもたち

北海道の森林と暮らしの歴史写真展



第2回目の写真展は、公開講座、「北海道の森林と暮らしの歴史(講談)」にあわせて行いました。写真は、明治時代後半から昭和20年代にかけての貴重な森林・林業やそれに携わる人々の営みがセピア色の写真を通し伝わってきました。

森の妖精キノコの世界写真展

それぞれのキノコの写真に、キノコを森の妖精に見立てた、空想の世界が広がる楽しいコメントがついた写真展を開催しました。どの季節でもいろいろなキノコと出会う喜びがあり、写真展ではその一部を紹介しました。

